



先生っ! 質問!!

谷口卓

Taniguchi Takashi

プロフィール

高崎大学短期大学部 総合生活学系 准教授 / 専門分野: 社会福祉援助技術論(高齢者、児童)、高齢者福祉論 / 高崎学園区片岡館長補佐、総合教育センター(兼任)

1984年早稲田大学教育学部教育学科卒業、和歌山県教育委員会勤務の後、社会福祉系に転向。特別支援老人ホーム生活相談員として勤務。日本福祉大学、高崎短期大学等非常勤講師等、2006年より高崎大学短期大学部に赴任。

「今年7月、高崎大学短期大学の学生専用のインターネット検索サイト「ボランティアアコムモ」のシステムを開発されました。そのきっかけは？」

学生の将来に繋がる システムを開発

学生には、夏休みを利用したボランティアを奨励しています。行ってみたい施設や団体は、インターネットのホームページなどで探してくださいと指導していました。ところが、「インターネットで見つかる情報は膨大。また、一覽で見出しがあっても断片的。一つひとつを丁寧に見ていくと時間が掛かり過ぎる」と言っています。ボランティアは、学生にとって貴重な経験。さらに、関わった施設や団体にそのまま就職するケースも多く、将来を決めるきっかけにも繋がります。そこでまずは熊本県と熊本市、熊本市社会福祉協議会との連携から得た情報を簡単に検索できるシステムを構築しようと思ったのです。

「10月にはサイトが一般にも公開されましたね。」

現在の私の原点となっているのは大学時代のボランティア体験。

このシステムの出発点も、学生に対する



「10月にはサイトが一般にも公開されましたね。」
現在の私の原点となっているのは大学時代のボランティア体験。
このシステムの出発点も、学生に対する

自分の思いを 人に伝える大切さ

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

横山博之

Yokoyama Hiroyuki

プロフィール

高崎大学短期大学部 幼児教育学科 講師 専門分野: 美術、絵画 画家—アパペラ—油彩

1969年熊本県小国町生まれ。1991年熊本大学大学院修士(文芸学) 1996年 第3回 英和日人賞受賞(福岡県立美術館 福岡)、2000年 熊本市立美術館(福岡県) 2002年 第1回アパペラ賞(福岡県立美術館 福岡)、2005年 クロコチン〜不知火〜阿波の文芸〜(不知火町 阿波新聞 阿波)、2006年 熊本市立美術館(福岡県) 2007年 熊本市立美術館(福岡県) 2008年 熊本市立美術館(福岡県) 2009年 熊本市立美術館(福岡県) 2010年 熊本市立美術館(福岡県) 2011年 熊本市立美術館(福岡県) 2012年 熊本市立美術館(福岡県) 2013年 熊本市立美術館(福岡県) 2014年 熊本市立美術館(福岡県) 2015年 熊本市立美術館(福岡県) 2016年 熊本市立美術館(福岡県) 2017年 熊本市立美術館(福岡県) 2018年 熊本市立美術館(福岡県) 2019年 熊本市立美術館(福岡県) 2020年 熊本市立美術館(福岡県) 2021年 熊本市立美術館(福岡県) 2022年 熊本市立美術館(福岡県) 2023年 熊本市立美術館(福岡県) 2024年 熊本市立美術館(福岡県) 2025年 熊本市立美術館(福岡県)

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」



ボランティアへの意識の向上です。より多くの方にボランティアに携わる際に活用していただきたいし、一般の方が学生のパワーを借りたい時にも利用していただければ、地域社会への貢献にも繋がると考えました。掲載するのは私が取捨選択をした熊本市内の情報に限られますが、今後もシステムを発展させていきたいと思っています。

「授業を通して学生に伝えたいことは？」

授業では、家族関係学や就職のキャリア論などを行っています。女子学生にとっての身近な問題は就職であり、「子育て」「赤ちゃんポスト」の報道に関心を持っている学生も多く、ボランティア希望の上位も子育てや保育関係です。それらを踏まえ、私が授業で学生に伝えたいことは、女子校で学ぶからこそ育むことができる視点を持つてほしいということ。ボランティア体験などを通して心構えをしておくことで、白らの将来に役立ててほしいですね。



子どもたちのころから絵を描くことが好きだったのですが、「画家」になるつもりはありませんでした。そこで大学卒業後、一旦は就職。しかし、仕事が忙しくなり、傍らで続けていた絵を描く時間がなくなっていました。10年前、悔いが残らないよう老えを改め、「絵を描いて売る」画家としての生活をしようという決心をしました。専門は油絵と古典的なテンペラ。周囲の方たちに支えられて続けてこられたと感謝しています。

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「横山先生は、幼児教育学科の講師をされていますが、画家という一面も持ちそうですね。画家を目指されたきっかけは？」

「アフガニスタン・マザリシャリフ・女学校」
板に油彩。91×182cm。2002。熊本市現代美術館蔵

アフガニスタン戦争のあと、タリバン政権から市民が開放された女子への教育がようやく再開されたことが新聞で伝えられ、その日の一場面が写真に向かって真剣なまなざしで文字の練習をしている女の子の姿とその黒板の美しさに惹かれて、これを作品として残したいと思い描いたものです。